

げいじ清流米ご活用の皆様へ

今年の春は天候の変化が激しく、4月11日には20cm程の降雪ありました。もう雪の心配も無いだろうと思い、夏タイヤに履き替えた途端雪に見舞われました。10数年ぶりの出来事のように。折しも10日には一回目の種まきが行われた翌日です。春先の三寒四温はいつものことながら、その振れ幅の大きさに体調を管理するのも一苦労です。お彼岸が過ぎれば農作業も本格化します。田んぼに堆肥や鶏糞を散布したり、田起こし、畦塗り、水路掃除、中でも苗作りは最も緊張する作業の一つです。近所の農家数軒も集まっての共同作業です。一度に苗箱2,200枚を播種します。この作業を3日置きに二度繰り返す、約4,100枚蒔きます。蒔いたものは加温機に3日間入れて芽出しを行います。その後ビニールハウスに並べて苗を育てます。散水や温度管理等、本当に気の抜けない日々が田植えが始まる5月中旬頃まで一月続きます。特にビニールハウスは急な日差しによって高温になったりすると、苗が焼けてしまう恐れがあるので気が抜けません。



芽だし苗をビニールハウスへ

平成から令和 平成も残すところ半月足らずとなりました。思い起こせば、私の農家人生もこの平成と共にあったような気がします。平成5年に未曾有の大冷害を経験し、その暮れには外国からのお米の市場開放が決まりました。この出来事に危機感を抱き、翌年からお米の産直をスタートしました。それから四半世紀、農業を取り巻く情勢も、農村を取り巻く情勢も大きく変わりました。また、温暖化の影響で異常気象が常態化する中、どうにかこうにかやってこれたのも、我が家のお米を活用してくださる、皆様の声に支えられたからだと思っています。元号が令和に決まり、マスクミ等は総じて好意的報道していますが、正直、「れいわ」と言う言葉の響きに、何か冷たさを感じています。使い慣れるのに少し時間が掛かりそうです。



作業の合間の休憩

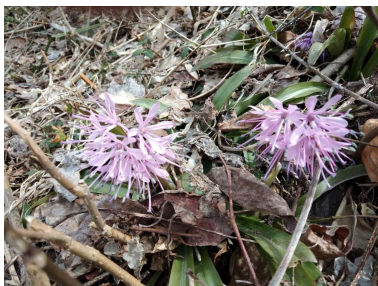
作業の合間の休憩、マスクミ等は総じて好意的報道していますが、正直、「れいわ」と言う言葉の響きに、何か冷たさを感じています。使い慣れるのに少し時間が掛かりそうです。

5月の発送日は17日です。(毎月第三金曜日) 発送日からの到着の目安

翌日配達・東北・関東・信越 / 翌々日配達・中部・北陸・関西・四国・北海道・九州



桜の開花が伝わってきますが、我が家の庭の桜は、未だこんな感じです。例年より3日ぐらい遅れているでしょうか。



ショウジョバカマ 田んぼの畦で枯れ草に混じり、ショウジョバカマが咲いていました。今では珍しくなりましたが、薄紫の可憐な姿に疲れも癒されます。

直売所

旬の逸品でご好評頂きました品々です。まだ多少在庫ございますのでご希望の場合はご用命下さい。

えごま油 2,284円/150g (税込) ※通常 2,484円

焙煎えごま粒 480円/100g (税込)

たかきび粒 350円/200g (税込)

ご注文方法: 郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上ご注文下さい。下記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。 ※尚、お米と一緒に

お届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。



お問い合わせ先

〒029-0301 岩手県一関市東山町田河津字田の萱 58

フリーダイヤル 0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

http://www.facebook.com/soji.sato

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想司

※日中は農作業のため留守電が対応します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。